

社会教育セミナー
平成28年9月3日(土)

本校PTAとの協力・連携の基、今年もまた「社会教育セミナー」を開催することができました。

☆小学校下学年を対象とした活動では、平入誠先生を講師に招き、「卓球教室」を開催しました。ラケットを初めて持ったという児童もいましたが、サーブの打ち方やラリーのコツ、そして最後はダブルスの試合のルールを分かりやすく教えていただきました。個人レッスンにも多くの時間を割いていただき、どの児童も楽しく、充実した時間を過ごすことができました。



○先生に教えてもらって、私は卓球が好きになりました。「練習をすればするほど得意になれるな。」と心の中で思いました。卓球の選手になりたいと思いました。

○ダブルスの試合ができて楽しかったです。学校全員で試合をしてみたいです。また教えてくださいね。

○玉を前に返すのが難しかったけど、何回も練習をして、できたときはとても嬉しかったです。教えてくれて感謝しています。



☆小学校高学年を対象とした活動では、JICAで働いている清水義朝先生を講師に招き、「国際協力って何？」をテーマにお話をいただきました。今、世界で起こりうる身近な「感染症」や「環境」についての問題を取り上げ、同じ地球に生きる「地球人」として私たちはどのような手助けができるのか、子どもたちは3つのグループに分かれて真剣に考えました。お話の中でもっとも印象的だったのは、物資や資金を与えるだけでなく、未来を自分たちで生き抜くた

アフリカの貧しいA国では、「ゾンビ」という伝説の怪物と伝説を信じている人が多くいます。この伝説を信じるためには、ゾンビの感染を避ける必要があり、ゾンビを殺害できる人がおらず、感染するおそれがあります。国民はその伝説の知識がないため、彼らから救済されないままに苦しんでいます。病気になる患者さんや死んだ患者さんの数も不足しています。

でも、A国には被災地が多くあるため、このような状況でも、世界各国から被災者が救済されています。

めの技術や教育が一番大切だということを教えていただいたことです。国際協力の意義深さを改めて実感した素晴らしい時間を過ごすことができました。



○私はずっとボランティアは外国や日本だけを手伝っていると思っていました。しかし、JICAや日本政府、企業、NGO、地方自治体、それから個人の方々の支えによって成り立っていることがわかりました。自分や自分の国だけでなく、みんなで幸せな地球を目指すことがわかりました。○国際協力を理解することができました。日本の文化を教えるのではなくその国の文化や、やり方を尊重することを学びました。私も地球人としてがんばりたいと思いました。

